

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

1 公衆衛生業務のための体制整備等

- (1) 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- (2) 各種予防接種や健診等のデータ管理のための総合保健福祉システムを運用した。

2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、乙訓2市1町及び(一社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。

- 乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回
- 乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 2回
- 乙訓保健予防行政事務協議会 13回
- 乙訓保健事業運営委員会 10回

3 「向日市食育推進計画」に基づき、各種取組を行った。

- (1) 例年、歯のひろばで「食育コーナー」を設け、啓発活動を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
- (2) 乳幼児健康診査、離乳食教室、プレママスクール、健康相談等で、栄養指導・相談を行った。

4 向日市・綾部市友好交流ウォーク

綾部市の「あやべふれあいウォーキング」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況 (単位：人、%)

診療日数 71日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0～5歳	6～15歳	16歳以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	1,344	552	214	578	724	290	18	312	299	722	111	177	35
構成比		41.1	15.9	43.0	53.9	21.6	1.3	23.2	22.2	53.7	8.3	13.2	2.6

2 在宅外科当番医制事業利用状況 (単位：人)

診療日数 76日	外科受診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送の人数
		0～6歳	7～15歳	16～64歳	65歳以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	256	42	44	101	69	78	151	27	2
1日平均	3.4	0.6	0.6	1.3	0.9	1.0	2.0	0.4	-

実施医療機関実数：30施設（診療所25、病院5）

実施医療機関延べ数：76施設（診療所25、病院51）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区区分	入 院					入 院 計	外 来					外 来 計	総 計	
	内 科	小児科	外科	脳外科	その他		内 科	小児科	外科	脳外科	その他			
乙 訓	向日市	18	2	2	7	29	58	25	24	33	7	49	138	196
	長岡京市	15	6	0	6	10	37	51	33	49	9	60	202	239
	大山崎町	4	0	0	0	1	5	10	6	12	2	7	37	42
京 都 市	514	29	179	69	196	987	1,163	601	830	70	317	2,981	3,968	
そ の 他	73	7	39	26	30	175	162	41	106	9	45	363	538	

④ 献血推進対策費（健康推進課）

(1) 移動献血車による献血運動

市内4会場において実施した。

実施日数	来所者数	採血者数	200ml 献 血	400ml 献 血
107 日	5,501 人	4,613 人	5 人	4,608 人

(2) 骨髄ドナー助成事業

骨髄等の提供を行った方に、入院や面談に要した日数に応じた助成を行う事業を実施した。

助成者数
1 人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、更に平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて4部門が共用する多機能施設となっていたが、家庭児童相談室は平成30年11月から子育て支援課内に移設された。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター
事業開催回数	63 回	296 回	35 回	6 回
延べ参加者数	1,550 人	3,834 人	390 人	68 人
会議・研修会等の開催回数	8 回	4 回	63 回	26 回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

- ① 感染症対策費（健康推進課・秘書課・議会事務局・総務課・防災安全課・子育て支援課・新庁舎・市民会館準備課・教育総務課・老人福祉センター・図書館・文化資料館・中央公民館・生涯学習課・広聴協働課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種を実施した。

A類予防接種：BCG、B型肝炎、不活化ポリオ、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、
四種混合（ジフテリア、百日せき、ポリオ及び破傷風）、麻しん風しん混合、水痘
日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症
ロタウイルス感染症（令和2年度主要事業）

B類予防接種：高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症

(1) 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実 施 実 人 数	接 種 率
BCG	令和元年9月1日～ 令和2年9月30日生	527 人	519 人	98.5 %

(2) 個別接種

種 類	通 知 対 象 者 等	対象者数	接種者数	接 種 率
BCG	—	—	1 人	—
ロタウイルス 感染症	令和2年8月1日生～令和3年2月28日生	延べ640 人	453 人	70.8%
B型肝炎	令和2年4月1日生～令和3年2月28日生	延べ1,218 人	※4 1,398 人	114.8%
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	新たな通知は行わなかった。	—	0 人	—
Hib感染症	令和2年1月1日～令和2年12月31日生	延べ1,836 人	1,961 人	106.8%
小児の肺炎球菌 感染症	令和2年1月1日～令和2年12月31日生	延べ1,836 人	1,929 人	105.1%
四種混合※1	令和元年12月1日～令和2年11月30日生	延べ1,884 人	1,982 人	105.2%
ジフテリア 破傷風	平成20年4月2日生～平成21年4月1日生	508 人	※4 409 人	80.5%
麻しん風しん 第1期	令和元年6月1日生～令和2年5月31日生	495 人	506 人	102.2%
水 痘	令和元年6月1日生～令和2年5月31日生	延べ994 人	1,042 人	104.8%
麻しん風しん 第2期	平成26年4月2日生～平成27年4月1日生	537 人	512 人	95.3%
日本脳炎第1期	平成28年4月2日生～平成29年4月1日生	延べ1,698 人	1,568 人	92.3%
日本脳炎第2期	平成22年4月2日生～平成23年4月1日生	557 人	625 人	112.2%
日本脳炎特例	平成17年4月2日生～平成18年4月1日生	545 人	277 人	50.8%
ヒトパピローマ ウイルス感染症	平成25年6月から積極的勧奨を行っていない。令和2年12月に接種に関する情報提供のはがきを通知した。	—	155 人	—
高齢者 インフルエンザ	65歳以上の方	15,939 人	※2 9,535 人	59.8%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	21 人	13 人	
高齢者 肺炎球菌感染症	65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳の方	※3 2033 人	※2,4 597 人	29.1%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	21 人	0 人	

※1 四種混合とは、ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風混合予防接種をいう。

※2 高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症の接種者数は、依頼書による接種者数を含む。

※3 高齢者肺炎球菌対象者は、65歳 531人と、70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳以上で対象であった5年前に未接種であった人1,502人

※4 新型コロナウイルス感染症特例措置により、接種期限を超えて接種した者を含む。

(3) 委託医療機関以外で接種する必要がある人の対応

平成25年度から長期里帰りなどにより委託医療機関で予防接種が受けられない場合に、個別に契約し、定期接種できるよう対応している。

15人（実人数）

73人（延べ人数）

(4) 長期療養が必要な特定疾病に係る特例措置

平成25年2月から長期療養が必要な特定疾病のために定期予防接種の機会を逸した人に対する定期予防接種を行っているが、接種者はなかった。

(5) 専門的予防接種・高度専門的予防接種

専門的な医学管理のもとで接種が必要な場合、済生会京都府病院及び京都府公立大学法人京都府立医科大学附属病院で接種できるが、接種者はなかった。

(6) 成人男性風しん予防対策

風しんの抗体保有率を引き上げ、風しんのまん延、先天性風しん症候群の発生を防止するため、令和元年2月から令和4年3月31日までの時限措置として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象にクーポン券を配布し、抗体検査と十分な量の風しんの抗体がない人に定期予防接種を実施した。

クーポン券配付対象

昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生の男性 4,107人

抗体検査受診者数 920人（うち予防接種対象者 219人）

予防接種接種者数 MR：165人 風しん：1人

2 風しん予防接種助成事業

先天性風しん症候群の発生を防止し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを進めるために、風しん予防接種の接種費用の一部を助成した。

助成対象

妊娠を希望する女性で抗体検査等により抗体価が低い者又は抗体価が低い妊婦と同居している抗体価が低い者が、風しん又は麻しん風しんの予防接種を受けた場合

助成者数 86人（女性 74人、男性 12人）

3 予防接種費用助成事業

予防接種法による定期の予防接種を依頼書に基づき委託医療機関以外で接種をした場合に接種費用の一部を助成した。

助成者数 37人（高齢者予防接種37人、乳幼児予防接種 0人）

4 骨髄移植等の医療行為に係る任意予防接種費用助成

骨髄移植等の医療行為により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再接種する20歳までの接種者に対し、経済的負担の軽減を目的とし、接種費用を助成するが、申請者はなかった。

5 結核検診

65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査(間接撮影)を肺がん検診と同時に市内8会場(6日間)で実施した。

実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果				未 受 診
			異常なし	結核	肺がん	その他	
12回	476人	17人	7人	0人	1人	6人	3人

6 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

新型コロナウイルスワクチンの接種のために必要な体制を、実際の接種より前に着実に整備することを目的として、次の事業を実施した。

(1) 予防接種台帳システム改修

総合保健福祉システム「健康家族21」の改修を行った。

(2) 接種券、予診票、案内等の印刷

65歳以上対象者分の接種券、予診票、案内、封筒の印刷を行った。

(3) 接種の実施体制の確保

集団接種会場運営、個別接種実施医療機関へのワクチン配送等に必要な備品や感染予防物品、救急対応物品等を調達した。

(4) 相談体制の確保

向日市新型コロナウイルスワクチン接種実施対策本部専用の電話回線設置及び相談・集団接種予約受付のためのコールセンター開設、運営を行った。

コールセンター：令和3年3月から設置

7 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) マスク購入券配布事業(秘書課)

全世帯を対象にマスク購入券を配布し、その購入費用の一部を負担した。

購入世帯数 13,019 世帯

- (2) 公共施設における感染症対策備品の購入（議会議務局・総務課・防災安全課・老人福祉センター
・図書館・文化資料館・中央公民館・生涯学習課
・広聴協働課・子育て支援課・新庁舎・市民会館準備課）

新型コロナウイルス感染症対策として、市役所庁舎をはじめ公共施設にアルコール等の必要な消耗品を購入するとともに備品の整備をした。

主な対策備品

- ・消毒用アルコール
- ・空間除菌清浄機
- ・飛沫防止用アクリル板及びパーティション
- ・手指消毒用オートディスペンサー
- ・石鹸用オートディスペンサー
- ・非接触型体温計
- ・顔認証型AIサーマルカメラ
- ・会議室用マイク・アンプ
- ・便座消毒用オートディスペンサー
- ・サーキュレーター
- ・感染症予防対策用屋外テント

- (3) 感染症対策のためのトイレ、手洗い場の自動水栓化（総務課・老人福祉センター・
生涯学習課・中央公民館・子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症対策として、非接触で使用できるようトイレや手洗い場を自動水栓化した。

実施箇所

- ・各コミュニティセンター
- ・中部防災拠点
- ・老人福祉センター
- ・各地区公民館
- ・各市立保育所
- ・各留守家庭児童会

- (4) 感染症対策のための網戸の設置及び修繕（教育総務課・老人福祉センター・生涯学習課
図書館・文化資料館・中央公民館・子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症対策として、使用時に常時換気ができるよう公共施設等の網戸を設置及び修繕を実施した。

実施箇所

- ・小中学校体育館
- ・老人福祉センター
- ・図書館
- ・文化資料館
- ・物集女公民館
- ・寺戸公民館
- ・鶏冠井公民館
- ・第3留守家庭児童会
- ・第5保育所

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費（健康推進課）

生活習慣病を予防するために各種健康診査を実施するとともに、がんを早期発見し早期治療に結びつけるために、各種がん検診を実施した。

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分の身体に適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧・脈拍測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1C）

イ 受診者数 0人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月1日から10月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1C）、必要者には心電図

イ 受診状況

	受診者数
生活保護受給者	128 人
国保異動者(国保会計負担)	37 人

(3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象者について、個別医療機関において、7月1日から10月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診者数 3,637人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて7日間実施した。受診率を向上させるため、平成21年度から午後の胃がん検診を開始し、また、乳がん検診と同時に受診できる枠を設けるなどの工夫をした。全日、大腸がん検診とも同時実施している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた2日分を中止した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃 がん	他病	不明	
415 人	399 人	16 人	3.9 %	0人	0人	16人	0人	0 人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

西暦で奇数年（和暦で昭和は偶数年、平成は奇数年）生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。（実績には無料クーポン検診の受診者も含む。）平成30年度から、検査方法をLBC法に変更。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	子宮頸がん	異形成	その他	不明	
1,045人	1,023人	22人	2.1%	2人	0人	8人	3人	0人	9人

子宮がん無料クーポン検診

20歳の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
274 人	29 人	10.6 %

※受診者数はアに含む

(3) 乳がん検診

ア 集団方式

マンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の西暦で奇数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて5日間実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた2日分は中止した。受診者全員に保健師による「自己検診法」の健康教育を同時に行った。（実績及び検診日数には、がん検診推進事業も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
591人	552人	39人	6.6%	11人	1人	0人	6人	8人	6人	1人	0人	6人

イ 管外受診制度（個別方式）

平成29年度から乳がん検診管外受診制度を導入し、医療機関での受診も可能となった。事前申込制とし、受付を9月1日から翌年2月12日まで、受診期間は10月1日から翌年2月28日まで実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
199人	168人	31人	15.6%	7人	0人	0人	4人	7人	8人	1人	0人	4人

ウ 乳がん無料クーポン検診

40歳(昭和54年度生まれ)の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
367人	94人	25.6%

※受診者数はア及びイを含む

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内8会場(6日間)で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
					異常なし	肺がん	肺がん の疑い	他 病	不 明	
642人	537人	97人	8人	1.2%	2人	0人	1人	5人	0人	0人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
16人	15人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査(免疫便潜血二日法)による検診を実施した。保健センターにおける集団方式は、胃がん検診、乳がん検診、肺がん検診(一部)と同時に10日間行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた2日分は中止した。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月1日から10月31日までの間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
186人	178人	8人	4.3%	3人	0人	1人	0人	4人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,692人	3,418人	274人	7.4%	39人	11人	134人	0人	90人

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月1日から10月31日までの間、PSA値測定(前立腺特異抗原検査)を実施した。()内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	が ん	肥大	他病	不明	
2,033人 (816人)	1,841人	192人	9.4%	22人	14人	81人	1人	0人	74人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月1日から10月31日までの間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率
C 型	120人	120人	0人	0%
B 型	120人	120人	0人	0%

(8) 胃がんリスク検診

60歳の節目に当たる方を対象として、乙訓胃がんリスク検診委託医療機関で、7月1日から10月31日までの間、ピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査を実施した。対象者には通知を行った。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検結果					精検未受診
				異常なし	早期胃がん	萎縮性胃炎	胃ポリープ	その他	
68人	51人	17人	25.0%	1人	0人	8人	0人	2人	6人

3 健康教育

(1) ヘルスアップ（減塩・血圧編）

血圧を改善するため、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。

実施回数	申し込み者数	参加者数
1回	9人	9人

(2) ヘルスアップ（脂質改善編）

脂質異常を改善するため、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。

実施回数	申し込み者数	参加者数
1回	12人	9人

(3) ぽっこりおなか改善！フィットネス教室

各クール毎に内容をかえ、家庭でも継続して行える運動の基礎を学ぶ教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
6回	37人	65人

(4) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。8種類のテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
6団体	8回	50人

(5) 歯のひろば

市民を対象に、京都府乙訓歯科医師会との共催で実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ア 内容 歯科医師による歯科健診・歯科相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト）、骨強度測定、血管年齢測定、簡単認知機能テスト、健康教育（パネル展示）、食育コーナーを設けての啓発活動、薬剤師によるお薬相談

イ 来所者数 0人

4 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じてパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	健康相談
5回	25人	19人	19人

イ 30歳代の健康診査結果説明会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

実施回数	参加者数
0回	0人

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉え、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
50回	1,887人

5 訪問指導

保健師、管理栄養士が、がん検診や各種健診後の要指導者に対する家庭訪問指導を行った。

実人数 16人 延べ人数 16人

6 その他の健康づくり

チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から実施している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者： 19人

延べ認定者数： 68人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 子育てコンシェルジュ推進事業

(1) 子育てコンシェルジュ

妊娠期から子育て期に渡るまでのワンストップ窓口として専任保健師を配置し、妊婦や転入児の保護者の面接・相談を行い、地域の子育て情報等の提供を行った。

市の子育てサービス等の情報を集約し、手書き地図に地域の子育て支援ひろば・公園をのせた子育てコンシェルジュマップを転入児相談・乳児健康診査・乳児訪問等で配布した。

また、支援の必要な妊婦に個別支援プランを作成し関係機関と連携しながら継続支援を行った。

	面接数	電話相談数
妊 婦	540 人	178 人
転入児（転入届出時）	204 人	33 人
その他の乳幼児	44 人	223 人

(2) 産前・産後サポート事業

ア 子育てパートナー派遣事業

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が電話相談・訪問指導を行った。

電 話 相 談	家 庭 訪 問
129 人	68 人

イ プレママ・サロン事業

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が保健センターで集団指導や個別相談を行った。

実 施 回 数	参 加 妊 婦 数	配 偶 者 等
10 回	74 人	16 人

(3) 子育て世代サポート事業

ア すくすく身体クリニック

配慮を必要とする子どもを支援し、保護者の不安や負担を軽減するために、小児科専門医の診察と保健師・栄養士による指導を行った。

実 施 回 数	参 加 者 数
13 回	39 人

2 母子健康手帳、妊婦健康診査公費負担受診券の交付及びマタニティマークの配布

母子健康手帳交付件数 472人

妊婦健康診査公費負担受診券交付件数 505人(うち 転入33人)

3 妊婦健康診査

平成9年度から市が実施。平成20年度から回数を5回に拡充、平成21年度からは14回に拡充するとともに委託先を京都府医師会だけでなく、大阪府医師会及び京都府助産師会にも拡大した。平成23年1月からHTLV-1抗体検査を、平成23年4月からクラミジア検査を追加した。

多胎妊婦健康診査支援事業として、令和2年度から多胎妊婦を対象に、基本健診6回分、追加健診3回分を追加した。**(令和2年度主要事業)**

受診者実人数 709人

(単位：人)

	受診者数	健診結果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	5,475	5,355	59	12	49
多胎妊婦基本健診（1～6回）	15	15	0	0	0
多胎妊婦追加健診（1～3回）	13	12	1	0	0
前期血液検査（貧血、血糖）	463	456	4	0	3
血液型	446				
中期血液検査（貧血、血糖）	423	387	8	1	27
後期血液検査（貧血）	371	336	11	0	24
血液検査（免疫検査）	463	459	3	1	0
B群溶血性レンサ球菌検査	388	378	3	1	6
HIV抗体価検査	464				
超音波検査（1～4回）	1,712	1,695	7	3	7
HTLV-1抗体検査	463	462	0	0	1
クラミジア検査	463	460	0	0	3
	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患	
子宮頸がん検査（細胞診）	457	455	1	1	

○ 妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 39人（実人数）

内訳 令和元年度健診分 延べ12人

令和2年度健診分 延べ29人

4 乳幼児健康診査

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月の乳幼児健診は延期。

	実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果			
				異常なし	要精検 要注意	未実施	
乳児前期健康診査	12回	573人	514人	409人	105人	0人	
乳児後期健康診査	10	463	484	373	111	0	
1歳6か月児 健康診査	一般	12	527	525	388	137	0
	歯科	12	527	525	520	5	0
3歳児健康診査	一般	13	633	622	375	247	0
	歯科	13	633	622	463	159	0
	視覚	13	633	622	544	78	0
	聴覚	13	633	622	620	2	0

3歳児健康診査精密検査

項目	精密検査対象者		受診者	受診結果		
	人数	要精検率		異常なし	経過観察	要治療
耳鼻科	0人	0.0%	0人	0人	0人	0人
眼科	68	10.9	30	10	13	7
検尿	27	4.3	21	8	11	2
発達	39	6.3	13	2	11	0
その他の所見	5	0.8	4	1	1	2

5 健康教育

(1) プレママスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師、助産師、看護師、栄養士による教室を実施した。

実施回数	対象者数	受講者数	延べ受講者数
9回 (全3回、4回クール)	494人 うち初妊婦218人	39人 受講率7.9%	85人 うち初妊婦 58人 うち配偶者 10人

※調理実習では、向日市食生活改善推進員協議会の協力を得て実施した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1クール1・2・3回目は中止し

(2) 離乳食教室

離乳食の必要性や実際の食べさせ方、進め方等について、講話を実施した。

実施回数	対象	対象者数	受講者数	受講率
10回	生後5か月児の保護者	368人	139人	37.8%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月は中止した。

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結果(実数)	
					療育施設へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
前期	3回	27人	5人	30人	8人	8人
後期	5回	38人	2人	40人	5人	12人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期の4月、5月実施分を中止した。

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防のみならず、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施する。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日程中止した。

○ 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
0回	554人	0人	0.0%	0.0人

○ 歯科健診結果

虫歯保有者	虫歯保有率	総虫歯本数
-人	-%	-本

(5) 2歳児教室

主に1歳6か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
5回	70人	45人	64.3%

(6) ブックスタート

平成23年8月から乳児後期健康診査時にブックスタートパック(絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット)を手渡すことと併せ、読み聞かせを実施する。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため読み聞かせは中止した。

実施回数	配布者数	配布数
10回	548人	1,096冊

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月は健診を中止し、訪問対応を行った。

6 健康相談

(1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来 所 児 数			1回平均 来所児数
	乳 児	幼 児	計	
13回	186人	150人	336人	25.8人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月は中止した。

(2) 発達相談、ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問、健康診査、相談等から発見された児童の事後指導として実施した。

	相 談 回 数	（来 実 所 人 児 数 ） 数	（来 延 所 べ 人 児 数 ） 数	相談結果			他機関への紹介					
				継 続	正 常 ・ 改 善	就 学	療 育 機 関 へ	医 療 機 関 へ	発 達 支 援 専 門 ク リ ニ ック へ	こ と ば の 相 談	発 達 相 談	
発 達 相 談	155	237	247	149	27	61	43	3	1	1	1	0
こ と ば の 相 談	14	38	47	12	12	14	0	0	0	0	0	0

7 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

低出生体重児訪問は、平成25年度から実施した。

家庭訪問数 (単位：人)

産 婦	新生児	乳幼児※
461	19	653

※ 乳幼児家庭訪問数に下記事業による訪問を含む

- 里帰り訪問事業 延べ人数 8人
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 556人(双子3組)
(うち低出生児延べ人数 34人)

8 養育支援家庭訪問事業

養育支援の必要な家庭に対し、保健師・助産師、家庭児童相談室の相談員等が家庭訪問を行い、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行った。

(単位：人)

	保健師・助産師		家庭児童相談室 相談員等	
訪問数	186		346	
(内訳)	妊婦	43	乳幼児	103
	産婦・母	24	児 童	243
	乳幼児	119		

9 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小 計	継続通園児数		小 計	合 計		
4月	週1回	10人	10人	週1回	21人	21人	週1回	31人	31人
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	
7月	週1回	0	0	週1回	31	31	週1回	31	31
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	
10月	週1回	5	5	週1回	31	31	週1回	36	36
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	
1月	週1回	0	0	週1回	36	36	週1回	36	36
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	

10 不妊治療助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、向日市不妊治療助成事業実施要綱に基づき、平成15年10月から実施している。平成23年4月から人工授精による治療も助成対象とし、助成額の拡充を図った。平成26年10月から男性不妊治療及び不育症の治療と検査にも助成対象を拡充した。男性不妊治療は、平成28年1月20日から京都府の特定不妊治療制度に移行した。

助成者数 103人 (実人数)

内訳 一般不妊治療助成者数 延べ121人 (うち人工授精による治療助成者数延べ69人)

不育症治療等助成者数 延べ2人

② 養育医療給付事業費 (医療保険課)

母子保健法第20条の規定により、身体の発育が未熟なまま出生し、医師が指定医療機関への入院養育が必要と認めた乳児に対し、入院医療費等の給付を行った。

延 べ 受 給 者 数	延 べ 支 給 件 数	支 給 総 額
10人	28件	2,518,088円

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（地域福祉課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年5月に向日市健康増進センターを開設した。平成18年度から指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理しており、平成28年度から5年間の指定管理者にゆめパレアむこう共同事業体（株式会社オージースポーツ、イオンディライト株式会社）を指定している。

指定管理料 : 18,326,000円

1 市民温水プール利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

1.5時間までの利用者数	34,774 人
1.5時間以上の利用者数	11,025 人
無料券及びピロティ利用者数	1,418 人
水中ウォーキング	0 人
（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）	
スイミングスクール利用者数（8月は休講）	30,360 人
市民温水プール利用者数合計	77,577 人

(2) 営業日数 253 日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための休館期間

令和2年4月3日から令和2年6月11日まで

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための営業時間短縮期間（午後8時までの営業）

令和3年1月15日から令和3年3月4日まで

2 健康増進センター利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

定期利用会員	102,883 人
うち市内	53,198人 (51.7%)
都度利用者	2,141 人
うち市内	854人 (39.9%)
健康増進センター利用者数合計	105,024 人
うち市内	54,052人 (51.5%)

(2) 営業日数 267 日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための休館期間

令和2年4月3日から令和2年6月14日まで

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための営業時間短縮期間（午後8時までの営業）

令和3年1月15日から令和3年3月4日まで

3 向日市健康増進センター及び向日市民温水プール指定管理者支援補助金の交付

令和2年4月以降の新型コロナウイルス感染症による利用者減少や向日市の臨時休館要請への対応により影響を受ける向日市健康増進センター・向日市民温水プールを管理運営する指定管理者に対して、補助金の交付を行った。

支援補助金 : 30,000,000円

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費（環境政策課）

市民の理解と協力により、環境美化対策を推進し、清潔で美しいまちづくりに努めた。

1 新環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「新向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

530（ごみゼロ）運動の一環として、市民や事業所、各種団体などと行政が一体となって地域の道路や公園等の清掃活動を実施するもの。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 環境保全啓発事業

・環境月間 令和2年6月1日（月）～30日（火）

・環境市民講座

「グリーンカーテン講習会」

令和2年4月23日（木）

「ふろしき包み方講座」

令和3年2月19日（金）

(3) 家庭向け自立型再生可能エネルギー導入補助事業

太陽光発電と蓄電池を同時に設置する家庭に対して、補助金の交付を行った。

補助世帯数	15件
補助金交付総額	3,331,000円

2 狂犬病予防対策

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するもの。

予防注射頭数 1,810頭

※狂犬病予防法に基づく集合注射は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3 ふん害対策

(1) イエローチョークについて、ホームページで普及啓発するとともに、協力者にチョークを提供した。

(2) マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

4 蜂駆除用防護服の貸出支援

個人で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂駆除用防護服を貸し出した。

（貸出件数 9件）

5 空き地雑草除去対策

空き地の管理について指導するとともに、環境美化の啓発等を推進した。

（指導件数 7件）

6 不法投棄対策

- (1) ルールの徹底されていない分別ステーションに防犯カメラの設置を促進した。
- (2) 分別ステーション利用マナーの向上のため、啓発ビラの回覧や配布、ごみ出しカレンダーの各戸配布を行った。
- (3) 環境整備員によって、分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した。
(通年、平日の午後)
- (4) 立看板の設置等による啓発を行った。

7 ごみの減量と再資源化の推進

(1) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

年 度	2	元	30	29	28
補 助 世 帯 数	16 件	5 件	8 件	3 件	4 件
補助金交付総額	133,600 円	32,900 円	56,100 円	30,000 円	40,000 円

(2) 紙パックリサイクル

ア 回収量 約1.7 t

イ 回収場所 18か所（市役所、公民館、老人福祉センター等）

(3) 廃食油回収

回収用容器及びのぼり旗を市民団体に無償貸与し、市民活動を支援した。

ア 回収量 2,317リットル

イ 回収場所 12か所（4団体）

(4) 資源ごみの回収

市役所庁舎、鶏冠井コミュニティセンター、北部防災拠点及び上植野コミュニティセンターで資源ごみの終日回収を実施した。また、市役所庁舎において廃食油の回収を実施した。

(単位：t)

年 度	2	元	30
種 別			
空 カ ン	8.71 (7.01)	6.96	4.81
空 ビ ン	20.16 (17.12)	15.23	12.54
ペ ッ ト ボ ト ル	8.72 (7.40)	5.77	4.56
合 計	37.60 (31.52)	27.96	21.91

() 内は新資源ごみ回収拠点の回収実績

(単位：リットル)

年 度	2	元	30
種 別			
廃 食 油	1,345	995	999

(5)新資源ごみ回収拠点整備事業（令和2年度主要事業）

利便性や、リサイクル率の向上を図るため、24時間家庭系資源ごみ（カン、ビン、ペットボトル等）を排出できる回収拠点を市役所敷地内において新設した。

種 別	回収量（t）
空 カ ン	7.01
空 ビ ン	17.12
ペットボトル	7.40
古 紙	16.68
合 計	48.21

(6) 小型家電回収

小型家電リサイクル法認定事業者と協定を結び、宅配便を用いた小型家電の回収（パソコンを含むと無料。ただし1箱のみ。）を実施し、リサイクルを推進した。

種 別	2		元		30	
	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)
パ ソ コ ン	382	1,716.0	259	1302.9	159	728.9
携 帯 電 話	244	27.6	122	14.6	69	8.0
その他小型家電		2,036.4		1407.0		617.3
合 計		2,064.0		2724.5		1,354.2

8 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別	2	元	30	29	28
大 気 汚 染	0	0	2	3	2
水 質 汚 濁	4	2	0	0	0
騒 音	7	7	12	4	6
振 動	0	1	2	0	0
悪 臭	5	7	2	6	2
そ の 他	16	12	4	4	1
計	32	29	22	17	11

※その他：動物のフン害や適正飼養に対する苦情など

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 令和2年5月1日（金）～9月30日（水）

注意報発令件数（乙訓地域） 1件（8月19日）

9 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別	2	元
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数	25	17
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	138	53
騒音規制法に基づく特定施設数	408	373
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	121	91
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	672	649

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別	年 度	
	2	元
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数	14	14
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	121	47
振動規制法に基づく特定施設数	334	307
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	120	42
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	227	227

10 調査・測定の実施状況

(1) 騒音・振動調査

ア 環境騒音実態調査 (24時間測定)

(7) 一般地域 (道路に面する地域以外の地域)

物集女公民館	令和2年11月11日 (水) ~12日 (木)
寺戸コミュニティセンター	令和2年11月12日 (木) ~13日 (金)
市役所本庁舎	令和2年12月16日 (水) ~17日 (木)
鶏冠井公民館	令和2年11月19日 (木) ~20日 (金)
上植野公民館	令和2年11月17日 (火) ~18日 (水)
上植野町落堀集会所	令和2年11月26日 (木) ~27日 (金)

(4) 道路に面する地域 (自動車騒音常時監視)

西京高槻線 (物集女町)	令和2年11月26日 (木) ~27日 (金)
西京高槻線 (寺戸町)	令和2年11月26日 (木) ~27日 (金)
西京高槻線 (上植野町)	令和2年11月26日 (木) ~27日 (金)
西京高槻線 (上植野町)	令和2年11月26日 (木) ~27日 (金)

イ 新幹線鉄道騒音等監視測定

森本町東ノ口 (新幹線上り側)	令和2年11月10日 (火)
森本町佃 (新幹線下り側)	令和2年11月10日 (火)

(2) 大気調査

一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

物集女御所海道交差点	令和2年8月18日 (火)
蔵ノ町公園	令和2年8月19日 (水)
寺戸公民館	令和2年8月19日 (水)
鶏冠井公民館	令和2年8月18日 (火)
上植野公民館	令和2年8月19日 (水)
上植野コミュニティセンター	令和2年8月18日 (火)

(3) 水質調査

公共水域調査 (河川、用水路) 4河川 / 5地点

寺戸川 (深田川橋)	年4回調査
石田川 (前田地下道西側)	
石田川 (西羽東師川合流地点)	
和井川 (JR東海道線東側)	
小井川 (JR東海道線西側)	

第1回	令和2年7月15日 (水)
第2回	令和2年9月14日 (月)
第3回	令和2年12月7日 (月)
第4回	令和3年3月9日 (火)

11 公衆浴場確保対策補助金

公衆浴場の経営の安定を図り、市民の保健衛生の向上及び増進を目的とし、市内1か所の公衆浴場に対し9万円の補助金を交付した。

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（環境政策課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、人口割等に応じて2市1町で分担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（環境政策課）

ごみの収集は、可燃物を週2回、資源物（分別収集）を月2回、粗大ごみや不燃物を随時収集し、一般家庭から市民一人1日あたり約521gのごみが排出された。

（収集量：乙訓環境衛生組合統計、人口：令和2年10月1日現在57,371人）

1 ごみ等収集量（年間）

(1) 一般家庭ごみ

種 別	収集量 (t)
可 燃 物	9,705.76
分 別 収 集	947.13
不 燃 物	90.64
粗 大 ご み	159.69
合 計	10,903.22

(2) 事業系ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	3,169.56
分 別 収 集	5.45
不 燃 物	0.00
粗 大 ご み	185.07
合 計	3,360.08

○有料ごみ

処 理 件 数	5,559
手 数 料 (円)	9,653,300

2 分別収集内訳（年間）

分 類	収 集 量 (t)	割 合 (%)
空 カ ン	112.01	11.76
空 ビ ン	270.43	28.39
そ の 他 不 燃	285.55	29.98
ペ ッ ト ボ ト ル	97.48	10.23
その他プラスチック	172.22	18.08
廃 乾 電 池	9.35	0.98
蛍 光 灯	5.54	0.58
合 計	952.58	100.00

3 ごみの適正な出し方についての啓発

可燃ごみや資源ごみ、粗大ごみの収集を円滑に行うため、ごみの出し方・分け方カレンダーを約28,000部配布するとともに、広報による啓発を実施し、マナーの向上に努めた。また、定期的な巡回パトロールや立看板の設置を行った。

4 資源ごみ排出ルール違反対策事業（令和2年度主要事業）

分別ステーションにおける不法投棄や前日出しなどの排出ルール違反を減らすため、ごみの出し方に関する指導やパトロールを実施した。

期間：令和2年7月から令和3年3月

分別ステーションの数：147か所

5 指定ごみ袋啓発事業（令和2年度主要事業）

家庭から排出されるごみ袋に市指定のごみ袋の導入を進めるため、2月に指定ごみ袋サンプル袋と啓発用チラシをセットにして全戸配布した。

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿収集費

① し尿収集費（環境政策課）

1 し尿くみとり（年間）

業務委託によりし尿を収集し、乙訓環境衛生組合の処理施設まで運搬した。

くみとり 戸数	人頭制		70 戸	くみとり家屋件数 84件
	計量制	一般家庭	5 か所	
		事業所	9 か所	
		仮設トイレ	47 か所	
くみとり量				201 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽（年間）

基数	89 基
浄化槽汚泥収集量	119 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。